ケーススタディ1

- システム概要（お風呂温度水量設定システム）

  お風呂温度水量設定システムは、湯ぶねの温度と水量に対して、監視や調整ができます。この温度と水量の指定は、コントローラを使って行います。コントローラは2種類あって、1つは浴室外から指定できるリモートコントローラで、もう1つは湯ぶね近くに設置されているバスタブコントローラです。

  監視に必要な現在の温度や水量といった情報は、湯ぶねに設置されているセンサから取得します。温度や水量の指定は、ユーザからコントローラに伝わり、給湯器が湯ぶねに対して行います。

  ユーザから温度もしくは水量の指定があったときには、コントローラはセンサから現在の値を取得し、それを設定値と比較し、その結果に基づいて給湯器に対してしかるべき命令を出します。

ケーススタディ1　問題

- 問題1

  ユースケース図を作成してください。

- 問題2

  クラス図を作成してください。

- 問題3

  ユーザーがリモートコントローラから水量を設定した際のシーケンス図を作成してください。

ケーススタディ2

- システム概要（スケジュール閲覧システム）

  キャンパス内で学生がスケジュール情報の公開、閲覧ができるシステムを作成します。

  スケジュール情報を公開したい学生は、プログラムを起動し登録画面を通じて開始時間と終了時間、場所、授業名（内容）を入力し、データベースに登録できます。

  このシステムでは検索画面に対して学生の個人名をキーに検索すると、指定した学生のスケジュール情報を閲覧することができます。

  登録と閲覧は独自のプログラムでデータベースにアクセスしています。

ケーススタディ2　問題

- 問題1

  ユースケース図を作成してください。

- 問題2

  クラス図を作成してください。

- 問題3

  情報の登録、閲覧時におけるシーケンス図を作成してください。